

# 平成29年度 第1回 学校運営協議会 会議録

日 時 平成29年5月18日（金）  
13時30分～16時00分  
場 所 千葉県立京葉高等学校大会議室

- 1 開会の言葉（教頭）
- 2 学校運営協議会委員委嘱（千葉県教育委員会）
- 3 県教育委員会あいさつ  
（県教育庁教育振興部生涯学習課学校・家庭・地域連携室 副主幹）
- 4 委員紹介（自己紹介）
- 5 日程説明（事務局 教頭）
- 6 会長及び副会長の選出
- 7 協議
  - (1) 平成29年度 学校運営の基本方針について  
校長から説明  
  
【学校運営の基本方針の承認】  
全会一致で承認される
  - (2) 学校運営協議会の組織について  
教頭から校内の組織について説明
  - (3) 平成29年度事業計画（案）について  
教頭から学校運営協議会に係る今年度の予定について説明
  - (4) 部会（3部会に分かれての協議）  
地域連携部会，キャリア教育推進部会，小・中・高・大連携部会の3部会に分かれて協議

## (5) 各部会からの報告

### 【地域連携部会】

次の2つの議題について協議した。

①京葉高校が自ら地域にでていく活動はどんなものがあるか。

- ・ボランティア養成講座について高校生が魅力を感じるものを案内したい。
- ・ある公民館のパソコン講座は近隣の高校で行っている。公民館の活動とクロスするのもひとつのやりかたではないか。
- ・京葉高校の施設を開放し使ってもらえるものを考えてはどうか。
- ・京葉高校の活動を地域の人たちがどれだけ知っているか。情報発信を工夫する必要がある。

②文化祭の中で地域と交流できるものがあるか。

- ・梨などの農産物の販売を地域の人に行ってもらってはどうか。

### [意見等]

委員 文化祭で近隣の小・中学校と連携して、例えば吹奏楽の演奏をするとかは良いと思う。

委員 文化祭の案内を生徒が行うなどしたらどうか。

委員 情報発信は継続的に行っていくことがよい。

### 【キャリア教育推進部会】

保育園インターンシップ、看護・医療体験は継続して取り組んでおり、一定の効果が表れた。

○資格取得に関する取組

- ・「危険物取扱乙種第4類」の資格取得について。普通科高校の生徒が取得することで実業高校生と差が埋められる。
- ・事務職なら、簿記二級、表計算・ワープロソフトに関する資格、社会福祉コーディネータ、ビジネス法務等も有功。
- ・京葉高校がどこを目指すかによって、生徒に勧める資格も変わってくる。
- ・資格を持っていることが給与にも反映されることを生徒にも教えてあげるべき。

○インターンシップ

- ・市内にどのような会社があって、どんな仕事をしているかインターンシップ等で理解を深めると良いのでは。都内に憧れをもって就職しても、親の介護などの家庭の事情でUターン就職している人も多い。

○まとめ

- ・資格取得やインターンシップなどを通じて、地域の求めている人材の育成につなげることができ、また、地域との連携を深めることによって、地域企業の魅力を知り、人材の流出を防ぐことにつながるのではないか。

### [意見等]

委員 市内の高校では、どのくらいの人数の生徒が就職しているのか。

担当 他校の状況は詳しく分からないが、本校では例年20名程の生徒が市内に就職している。

#### 【小・中・高・大連携部会】

- ・小・中学校への出前授業については、積極的に行うとよい。
- ・出前授業等の相談（受付）窓口をもっと周知し宣伝すれば、小・中学校も利用しやすくなる。
- ・部活動の合同練習等は積極的に行ってほしい。
- ・小学校では外国語活動も始まるので、うまく高校の先生方と連携できるとよい。
- ・出前授業では、先生だけでなく、可能であれば高校生も一緒に来て教えてもらおうと、より良い授業になるのでは。

#### [意見等]

委員 部活動では市民スポーツクラブとの連携、学習面では近隣の大学との連携をすすめてはどうか。

委員 出前授業等について、多くの小・中学校で利用してもらうために、アナウンスを上手くするとよいのでは。

#### 8 事務連絡（教頭）

次回の学校運営協議会は10月20日金曜日午後に実施を予定している。

#### 9 閉会の言葉（教頭）